

横浜市市立病院あり方検討委員会

第 5 回 資 料

目 次

ページ

資料 1	新港湾病院を中心とした半径 5 km圏内に所在する主な病院 1 - 1
	・ 各病院の概要 1 - 2
	参考：新港湾病院を中心とした半径 5 km、 8 km圏内 に所在する主な病院 1 - 3
資料 2	市立病院及び地域中核病院の経常収支の概要（平成13年度） 2
資料 3	地方公営企業法全部適用・一部適用病院の経営状況比較 3

新港湾病院を中心とした半径 5 km 圏内に所在する主な病院



* 1 新港湾病院を中心とした半径5km圏内に所在する一般病床300床以上の病院を表示した。

* 2 各病院への交通アクセス

- 【新港湾病院】 JR・東急・市営地下鉄「桜木町駅」からバス（約20分）、JR・市営地下鉄「関内駅」（最寄りバス停尾上町）からバス（約15分）又はJR「根岸駅」からバス（約20分）。
- 【市大センター病院】 市営地下鉄「阪東橋駅」から徒歩（約5分）又は京急「黄金町駅」から徒歩（約10分）。
- 【脳血管医療センター】 JR「根岸駅」からバス（約15分）又は市営地下鉄「吉野町駅」（最寄りバス停根岸橋）からバス（約10分+徒歩10分）。
- 【横浜赤十字病院】 JR「根岸駅」から徒歩（約10分）。
- 【社会保険横浜中央病院】 JR「石川町駅」から徒歩（約5分）又はJR「関内駅」から徒歩（約10分）。
- 【けいゆう病院】 JR・東急・市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩（約15分）又は東急・市営地下鉄「高島町駅」から徒歩（約20分）。

各病院の概要

	新港湾病院 * 1	市大 センター病院	脳血 管 医療センター	横浜赤十字病院	社会保険 横浜中央病院	けいゆう病院
開設者	横浜市	横浜市	横浜市	日本赤十字社 神奈川県支部	社団法人 全国社会保険 協会連合会	財団法人 神奈川県警友会
開設時期 * 2	昭和37年 (平成16年度末 再整備開院予定)	昭和24年 (平成12年 再整備開院)	平成11年	昭和39年 (昭和63年増築)	昭和34年	平成8年 (移転再整備)
病床数	634	720	300	380	350	410
一般	584	670	300	380	350	410
精神	50	50				
その他			老人保健施設 定員 80人			
診療科目等 * 3	22科	8センター+2	6科	15科	14科	14科
		救命救急セン 熱傷センター 母子医療セン 難病医療セン 感染症医療センター 精神医療セン 心臓血管セン 消化器病セン				
	内科	総合内科 血液内科 腎臓内科 内分泌・糖尿病	内科	内科	内科	内科
	呼吸器科	呼吸器内科		呼吸器科		
	消化器科	(消化器病センター)		消化器科		
	循環器科	(心臓血管センター)		循環器科		
	神経内科	神経内科	神経内科			
	小児科	小児科		小児科	小児科	小児科
	外科	総合外科		外科	外科	外科
	整形外科	整形外科		整形外科	整形外科	整形外科
	形成外科	形成外科			形成外科	形成外科
	脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科
	呼吸器外科	(総合外科)				
	心臓血管外科	(心臓血管センター)				
	皮膚科	皮膚科		皮膚科	皮膚科	皮膚科
	泌尿器科	泌尿器科		泌尿器科	泌尿器科	泌尿器科
	産婦人科	(母子医療センター)		産婦人科	産婦人科	産婦人科
		婦人科				
	眼科	眼科		眼科	眼科	眼科
	耳鼻いんこう科	耳鼻いんこう科		耳鼻いんこう科	耳鼻いんこう科	耳鼻いんこう科
	リハビリテーション科	リハビリテーション科	リハビリテーション科			
	精神科	(精神医療センター)				精神科
	放射線科	放射線科	放射線科	放射線科	放射線科	放射線科
	麻酔科	麻酔科	麻酔科	麻酔科	麻酔科	
	歯科・口腔外科	歯科・口腔外科・矯正歯科			歯科・口腔外科	歯科
		臓器移植科				
特徴	・365日24時間救急 ・病院群輪番制 参加病院 ・母児二次救急 システム参加病 ・精神科救急(2次) ・緩和ケア ・アレルギー疾 ・災害医療拠点病院 ・臨床研修病院	・365日24時間救急 (救命救急センター) (母子医療センター) ・精神科救急(3次) ・災害医療拠点病院 ・臨床研修病院	・365日24時間救急 (脳血管疾患のみ)	・病院群輪番制 参加病院 ・母児二次救急 システム参加病 ・臨床研修病院	・病院群輪番制 参加病院 ・母児二次救急 システム参加病	・病院群輪番制 参加病院 ・母児二次救急 システム参加病 ・災害医療拠点病院 ・臨床研修病院
			・脳血管疾患に 対する、発症直 後から回復期に 至るまでの一貫 したリハビリテ ーションへの			

* 1 新港湾病院の記載事項は、現計画に基づく予定。

* 2 開設時期は、現在地での開院時期で、横浜市衛生局「横浜市の医療施設(名簿編)」による。

* 3 診療科目は、標榜科目(脳血管医療センター及び市大センター病院は条例・規則上のもの、他は各病院のホームページで確認できたもの)で、医療法上の届出によるものとは異なる。

ただし、市大センター病院については、特定の診療科名を標榜していないが8つのセンター又は他の診療科が実質的な診療機能を有しているものについては、当該機能を有する主たるセンター又は診療科の名称を()書きで記載した。

参考 : 新港湾病院を中心とした半径5 k m、8 k m圏内に所在する主な病院



市立病院及び地域中核病院の経常収支の概要（平成13年度）

単位 = 万円

区 分	市 立 病 院			地 域 中 核 病 院				
	市民病院	港湾病院	脳血管医療センター	南部病院	西部病院 * 3	横浜労災病院	北部病院	
開院年月（再整備期間）	昭和35年10月 （S58～H3年度再整備）	昭和37年5月	平成11年8月	昭和58年6月	昭和62年5月	平成3年6月	平成13年4月	
病床数及び診療科目数	624床，20科	300床，14科	300床，6科 介護老人保健施設80人	500床，18科	518床，26科	650床，23科	653床 6センター及び14科	
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・365日24時間救急 ・感染症指定医療機関 ・がん検診センター併設 ・災害医療拠点病院 ・臨床研修病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療拠点病院 ・臨床研修病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・365日24時間救急 ・脳血管疾患への一貫した治療 ・リハビリテーション ・介護老人保健施設併設 	<ul style="list-style-type: none"> ・365日24時間救急 ・災害医療拠点病院 ・臨床研修病院 ・循環器系疾患 	<ul style="list-style-type: none"> ・救命救急センター ・周産期センター ・災害医療拠点病院 ・臨床研修病院 ・脳・循環器系疾患 	<ul style="list-style-type: none"> ・365日24時間救急 ・労災医療 ・リハビリテーション ・災害医療拠点病院 ・臨床研修病院 ・脳・循環器系疾患 	<ul style="list-style-type: none"> ・365日24時間救急 ・緩和ケア ・精神科救急 ・災害医療拠点病院 ・臨床研修病院 ・がん・心・脳血管疾患 ・老人性痴呆患者の治療 	
事業方式	「公設公営」	「公設公営」	「公設公営」	「共同建設方式」 市と済生会が共同で建設	「誘致方式」 聖マリアンナ医大が建設	「誘致方式」 労働福祉事業団が建設	「誘致方式」 昭和大学が建設	
経常収支の状況	収益	1,388,800	595,400	519,400	1,228,100	1,113,700	1,582,200	703,400
	うち医業収益 * 1	1,246,200	537,100	325,000	1,190,500	1,097,000	1,551,100	664,700
	うち入院収益	737,900 (59.2%)	309,200 (57.6%)	264,200 (81.3%)	674,100 (56.6%)	738,500 (67.3%)	1,029,100 (66.3%)	520,500 (78.3%)
	診療単価	37,210 円	34,973 円	29,076 円	42,254 円	43,493 円	44,578 円	43,593 円
	1日当たり患者数〔病床利用率〕	543 人	242 人	249 人	437 人	462 人	633 人	301 人
	うち外来収益	316,600 (25.4%)	189,800 (35.3%)	31,600 (9.7%)	493,100 (41.4%)	288,100 (26.3%)	474,700 (30.6%)	144,200 (21.7%)
	診療単価	7,378 円	8,780 円	9,429 円	11,561 円	7,312 円	7,884 円	8,556 円
	1日当たり患者数	1,751 人	882 人	137 人	1,591 人	1,455 人	2,457 人	630 人
	費用	1,472,500	682,600	770,400	1,216,800	1,117,600	1,578,200	764,000
	うち医業費用 * 2	1,402,900	672,900	696,200	1,197,000	1,083,100	1,578,200	764,000
うち人件費	734,800 (59.0%)	351,700 (65.5%)	334,800 (103.0%)	512,900 (43.1%)	433,600 (39.5%)	638,100 (41.1%)	364,800 (54.9%)	
うち材料費	313,000 (25.1%)	190,500 (35.5%)	65,400 (20.1%)	404,700 (34.0%)	271,900 (24.8%)	416,200 (26.8%)	185,800 (27.9%)	
うち経費	253,000 (20.3%)	103,200 (19.2%)	128,900 (39.7%)	250,100 (21.0%)	306,300 (27.9%)	363,500 (23.4%)	211,500 (31.8%)	
うち減価償却費	98,400 (7.9%)	25,500 (4.7%)	166,100 (51.1%)	27,500 (2.3%)	71,300 (6.5%)	153,000 (9.9%)	1,900 (0.3%)	
経常損益	83,600	87,200	250,900	11,300	3,900	3,900	60,600	

* 1 医業収益の（ ）内は、医業収益全体に占める構成比。

* 2 医業費用の（ ）内は、医業収益比率。

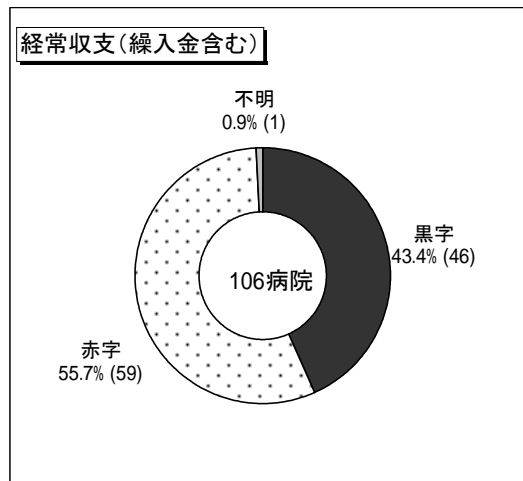
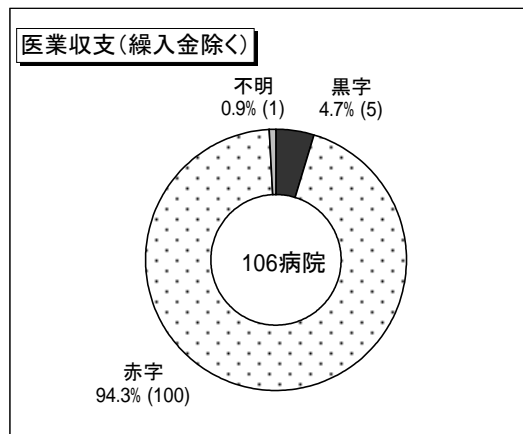
* 3 西部病院の経常収支は、平成12年度。

地方公営企業法全部適用・一部適用病院の経営状況比較

※平成12年度地方公営企業年鑑より

1 全部適用病院【106病院】

		病院数	割合
医業収支 (繰入金除く)	黒字	5	4.7%
	赤字	100	94.3%
	不明	1	0.9%
経常収支 (繰入金含む)	黒字	46	43.4%
	赤字	59	55.7%
	不明	1	0.9%
計		106	



2 一部適用病院【896病院】

		病院数	割合
医業収支 (繰入金除く)	黒字	96	10.7%
	赤字	789	88.1%
	不明	11	1.2%
経常収支 (繰入金含む)	黒字	444	49.6%
	赤字	441	49.2%
	不明	11	1.2%
計		896	

